

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校音楽鑑賞教室				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	64	計画事業名	子どもの文化教育の充実				
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出							事業の開始・終了年度
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり							
		[施策] ①文化に触れる機会の充実							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	学習指導要領				
	事業対象	区立中学校1年生							
	事業目的	区立中学校の生徒がオーケストラの演奏を鑑賞することにより、情操豊かな生徒の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。							
	事業内容	東京藝術大学管弦楽研究部オーケストラによる演奏会を開催し、鑑賞する(新学習指導要領の内容として位置づけている。 (会場) 東京藝術大学 奏楽堂							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	開催回数		(回)	1	1	1	1	
		参加生徒数		(人)	736	801	772	770	
	決算額 (単位:千円)					1,080	1,079	1,078	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				170	160	178	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				112	111	106	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				969	969	972	
		総経費				1,251	1,240	1,256	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				1,251	1,240	1,256			
前回評価から改善した事項	なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	学習指導要領に基づく、生徒の情操教育の推進を目的とした事業である。通常の授業では得ることのできない経験を生徒たちに与える機会となっており、保護者等地域からの実施要望も依然として高い。						
	効率性	4	東京藝術大学との事前協議において演目による費用の比較を行い、パイプオルガンの調律費用を抑制するために、使用するパイプの比較的少ない曲を選択するなど効率性向上に努めている。小学校5年生を対象とした音楽鑑賞教室とあわせて実施しており、効率的である。						
	手段の適切性	4	曲目に関しては、学校教員と東京藝術大学で協議を行い、生徒が聞きやすく、参加しやすいものを考慮して選曲し公演を行っている。区が持つ芸術資源の活用という意味においても適切である。中学生のコンクール受賞者による演奏をプログラムに組み込むなどにより、生徒の興味を引く取組を行っている。						
	目的達成度	3	対象となる生徒ほぼ全員に鑑賞機会を提供することができた。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
学校の音楽教育と鑑賞する曲目の関連性を図るなど、生徒達になじみの無い音楽でも聴きやすく参加しやすいように工夫をしながら事業を実施している。様々な分野への興味関心が広がる時期の生徒達へ芸術に親しむ機会を提供することによる教育上の効果は高く、継続して事業を実施していく。						維持			